

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2024 助成の概要と推薦理由

助成番号 24-3-1

プロジェクト名 小児病棟の付き添い家族に温かい食事を届け、
心も支える「ミール de スマイリング」事業
普及プロジェクト

団体名 認定特定非営利活動法人キープ・ママ・スマイリング

代表者名 光原 ゆき

所在地 東京都

助成額 196万円

助成期間 2024年7月1日～2025年6月30日

設立年 2014年

URL <https://momsmile.jp/>



入院している子どもに付き添う家族(主に母親)は、院内での熟睡が叶わず睡眠不足になりやすい。また、病人ではないため食事は提供されず、栄養が偏りがちである。そのため付き添い家族は、体調を崩す例も多いが、病児に付き添う親に対する病院や支援団体のサポート体制は整っていない。

本団体は、そのような状況を改善するため、小児病棟の付き添い家族に温かい食事を届ける活動とともに、アドボカシーにも取り組んでいる。

2022年の助成1年目は、「お弁当 de スマイリング」パイロット事業として、全国6か所の医療機関・病院において地域の食支援団体とともに、付き添い家族への食事の提供を行った。その結果、全国の食支援団体とのネットワークが強化され、助成2年目では、パイロット事業に関わった11団体とともに、食支援の連絡会「えんたく」を発足した。「えんたく」では、付き添い食を提供したい人・団体のための運営ノウハウ連続講座「えんたく連続講座」をオンラインで5回開催し、学びあう機会を設けた。その内容をまとめて冊子を発行する。

今回の助成では、「えんたく」を継続・充実させて各地で食支援に取り組む個人・団体をさらに掘り起こし、支援を行う。同時に、「えんたく連続講座」の内容をテキスト化することで食支援ノウハウの標準化を目指す。

令和6年の診療報酬改定において「食事と睡眠環境等の付添い環境への配慮」が規定された。このような国の動きを受けて、2024年度以降、医療機関における付き添い食の提供が進展することが予測される。食支援連絡会では互いを高め合う仕組みや意識を醸成するとともに、同団体が中間支援の役割を担い、社会と付き添い家族をつなげるハブとなるよう期待する。